

食料共生システム学専攻

Agricultural Engineering and Socio-Economics

食料環境経済学講座

Food and Environmental Economics

## 食料経済学分野

食料経済学では、食料を供給する農業と、食料の最終消費者である家計が、どのように連携して食料や環境に関わる問題の解決を目指すべきかという観点から研究を進めている。農業は食料を供給するだけでなく、国土や環境の保全、地域社会の維持・発展、食農教育など、多様な公共財を供給できる稀な産業である。したがって、食料生産の効率性だけで農業の優劣を判断することは片手落ちである一方、農業が産業としての存立基盤を失えば、同時に多様な公共財供給機能も消滅する。食料経済学では、こうした立場から次の研究を進めている。①食料供給産業として持続的・安定的に食料を供給するための政策研究（収益性が悪化して弱体化の目立つ米作部門を立て直すための計量分析、生産性の高い経営体に農地を集積するための計量分析など）、②公共財供給にかかる社会費用の特定化と、農業と家計の連携が社会厚生に与える効果の研究、③家計の食料消費の特徴・変化・予測に関する研究（食生活の洋風化・外部化・二極化や、単身世帯の増加に関する計量分析と需要予測）、④農村の活性化やコミュニティの再生、都市・農村交流、食農教育、NPOの社会的役割など、公共財供給を促進するための実践的研究。

### 1. 公表学術論文

#### 著書

- 草苺 仁(2010):「ゆたかな日本」の食生活, 清水昂一  
監修・鈴木充夫編著, 食料・貿易・環境の計量分析,  
農林統計出版, 東京, pp.15-38
- 草苺 仁 (2005): 食料消費と家族形態, 清水昂一・  
小林弘明・金田憲和編著, コメ経済と国際環境,  
東京農大出版会, 東京, pp.97-112
- 草苺 仁 (2005): 伸縮の手法と伸縮的思考, 泉田洋  
一編, 近代経済学農業・農村分析の50年, 農  
林統計協会, 東京, pp.159-169

- 中塚雅也 (2009): 多様な主体の協働と NPO, 生源  
寺眞一編著, 改革時代の農業政策 最近の政策  
研究レビュー, 農林統計出版, pp.311-321
- 中塚雅也 (2007): 都市とむすんだ新しい地域マネジ  
メント, 高橋信正・金澤洋一編著, 田舎のちか  
ら, 昭和堂, pp.22-31,
- 中塚雅也 (2007): マチに田舎を貸そう, 高橋信正・  
金澤洋一編著, 田舎のちから, 昭和堂, pp.237-247

#### 原著論文

- 草苺 仁(2010): 農業における範囲の経済と所得移転効  
果, 2010 年度日本農業経済学会論文集, pp.1-5
- 玉井大地・草苺 仁(2010): 農地貸借市場の不完全性  
と農家の貸借行動—オプション・ゲームの有効性に  
関する理論・実証分析—, 2010 年度日本農業経  
済学会論文集, pp.142-148
- 谷 顕子・草苺 仁(2010): 世代別食料消費の二極化傾  
向, 2010 年度日本農業経済学会論文集,  
pp.149-153
- 阪本 亮・草苺 仁(2010): 子牛価格の不確実性が肉牛  
繁殖農家の飼養頭数決定に与える影響—動学的  
双対モデルによる実証分析—, 農業経済研究, 81  
(4), pp.209-222
- 草苺 仁(2009): 農業と社会厚生, 2009 年度日本農業  
経済学会論文集, pp. 334-337
- 阪本 亮・草苺 仁(2009): 稲作における価格の不確実  
性と土地の限界生産物価値, 2009 年度日本農業  
経済学会論文集, pp.102-107
- 住本雅洋・草苺 仁(2009): 食生活の洋風化と外部化に  
関する需要体系分析, 2009 年度日本農業経済学  
会論文集, pp.212-217
- 玉井大地・豊田泰仁・草苺 仁(2009): バングラデシュの  
エビ養殖における土地契約の選択に関する分析,

- 2009 年度日本農業経済学会論文集, pp.515~520
- 谷 顕子・草苺 仁(2009): 家計の食料需要における嗜  
好および規模の効果—世帯主の年齢階級別データ  
による計測—, 農林業問題研究, 45(2), pp.15-18
- 住本雅洋・草苺 仁(2009): 食の外部化要因と生鮮野  
菜需要, 農林業問題研究, 45(2), pp.19-23
- 阪本 亮・草苺 仁(2009): 稲作農家の利潤効率性と減  
反政策, 農林業問題研究, 45(1), pp.33-36
- 玉井大地・草苺 仁(2009): 経済発展が穀物需要に与え  
る影響, 農林業問題研究, 45(1), pp.48-51.
- 谷 顕子・草苺 仁(2009): 家計消費における財とサービ  
スの代替性, 家庭経済学研究, 22, pp.22-30
- Yoshimi Kuroda and Hitoshi Kusakari (2009):  
Estimating the Allen, Morishima, and McFadden  
(Shadow) Elasticities of Substitution for Postwar  
Japanese Agriculture, 経営学論集, 19(3), pp.  
65-96
- 原 浩太・草苺 仁 (2008): 米作の非効率性と限界生  
産物価値, 2008 年度日本農業経済学会論文集,  
pp.27-31
- 住本雅洋・草苺 仁 (2008): 内食と中食・外食との  
代替関係からみた生鮮野菜の需要分析, 2008 年  
度日本農業経済学会論文集, pp.150-155

- 草苺 仁 (2008) : 家計内生産効率と公共財供給, 2008 年度日本農業経済学会論文集, pp.156-163
- 草苺 仁 (2008) 給食費未納問題と規範意識, 神戸大学農業経済, 40, pp.1-6
- 原 浩太・草苺 仁 (2008) : 米作の配分効率性と過剰投資, 神戸大学農業経済, 40, pp.17-21
- 中川聡司・草苺 仁 (2008) : 農工間賃金格差と農地貸借—効率賃金の視点から—, 神戸大学農業経済, 40, pp.41-46
- 阪本 亮・草苺 仁 (2008) : 不確実性下における肉牛繁殖農家の供給行動, 神戸大学農業経済, 40, pp.47-52.
- 谷 顕子・草苺 仁 (2008) 家計需要における世帯規模効果の比較分析, 神戸大学農業経済, 40, pp.53-60
- 原 浩太・草苺 仁 (2007) : 米作の費用関数分析と要素代替の弾力性, 2007 年度日本農業経済学会論文集, pp.1-5
- 中川聡司・草苺 仁 (2007) : 農地貸借と戦略的行動, 2007 年度日本農業経済学会論文集, pp.127-133
- 住本雅洋・草苺 仁 (2007) : 野菜の調理と価格弾力性, 2007 年度日本農業経済学会論文集, pp.239-242
- 草苺 仁 (2007) : 食生活の志向に関する需要分析, 2007 年度日本農業経済学会論文集, pp.243-247
- 谷 顕子・中 祐子・草苺 仁 (2007) : 食料および非食料輸入の需要体系分析, 農林業問題研究, 43 (1), pp.146-150
- 阪本 亮・中 祐子・草苺 仁 (2007) : 家計における生鮮果物消費の減少要因, 農林業問題研究, 43 (1), pp.151-155
- 草苺 仁 (2007) : 世帯規模効果と双対理論, 神戸大学農業経済, 39, pp.11-16
- 住本雅洋・草苺 仁 (2007) : 日本における米国産大豆の輸入価格と米国の価格・所得支持制度, 神戸大学農業経済, 39, pp.25-30
- 中川聡司・草苺 仁 (2007) : 農地流動化と土地市場の特性, 神戸大学農業経済, 39, pp.31-36
- 長谷部杏子・草苺 仁 (2007) : 調理技術と食の外部化, 神戸大学農業経済, 39, pp.37-42
- 阪本 亮・草苺 仁 (2007) : 牛肉の市場価格と関税および為替レート—Bertrand-Nash モデルによる波及効果の分析—, 神戸大学農業経済, 39, pp.43-48
- 谷 顕子・草苺 仁 (2007) : 家計における生鮮および非生鮮食料の需要体系分析, 神戸大学農業経済, 39, pp.49-54
- 草苺 仁 (2006) : 家計生産の派生需要としての食材需要関数の計測, 2006 年度日本農業経済学会論文集, pp.139-144
- 住本雅洋・草苺 仁 (2006) : 食の外部化からみた生鮮野菜の需要分析, 2006 年度日本農業経済学会論文集, pp.145-150
- 草苺 仁 (2006) : 食の外部化と家族機能, 2005 年度日本農業経済学会論文集, pp.271-275
- 遠藤幸祐・草苺 仁 (2006) : 米作の生産関数分析と要素分配率, 2005 年度日本農業経済学会論文集, pp.166-171
- 住本雅洋・草苺 仁 (2006) : 食の外部化と野菜需要, 2005 年度日本農業経済学会論文集, pp.281-285
- 住本雅洋・草苺 仁 (2006) : 家計消費における食料と余暇の弱分離可能性, 神戸大学農業経済, 38, pp.17-23
- 中川聡司・田淵泰匡・草苺 仁 (2006) : みかん価格の変動とオレンジの輸入自由化, 神戸大学農業経済, 38, pp.33-40
- 長谷部杏子・城山のぞみ・草苺 仁 (2006) : 生鮮野菜の需要減少と食の外部化, 神戸大学農業経済, 38, pp.41-46
- 遠藤幸祐・草苺 仁 (2004) : 減反政策と稲作経営安定対策の整合性, 2004 年度日本農業経済学会論文集, pp.153-156
- 成 勇旭・草苺 仁 (2004) : 韓国における牛肉の供給変動が品質差別化と自給率に与える影響, 2004 年度日本農業経済学会論文集, pp.408-412
- 中塚雅也・内平隆之 (2010) : 農村における地域づくりリーダーの特性と育成課題, 農林業問題研究, 46 (1), pp.81-87
- 鈴木曜・板倉礼実・中塚雅也 (2010) : 現地型農業体験学習のプログラム開発と学習プロセス, 農林業問題研究, 46(1), 88-93
- 内平隆之・中塚雅也・加古敏之 (2010) 我が国における"食農コープ教育"確立の意義と展望 46(2), pp.239-244
- 川口友子・中塚雅也・星野敏 (2010) : 地域担当職員制度の運用と課題に関する一考察—兵庫県篠山市, 丹波市を事例として, 農村計画学会誌, 29, pp.263-268
- 吉田直史・中塚雅也 (2010) : 地域自治組織の規約の類型と活動展開, 農村計画学会誌, 28(4), pp.420-425
- 中塚雅也・川口友子・星野敏 (2009) : 小学校区における地域自治組織の再編プロセス—「場」の生成の視点から—, 農村計画学会誌, 28 (3), 135-140
- 山口創・中塚雅也 (2009) : 黒大豆特産地にみる地域レベルの知識管理の実態と課題, 農業経営研究, 47 (2), pp.106-111
- 張京花・中塚雅也・高田理 (2009) : 韓国における一社一村運動の展開要因と課題, 農林業問題研究, 45 (1), pp.143-148

- 中村省吾・星野敏・中塚雅也 (2009) : 地域づくり活動展開におけるソーシャル・キャピタルの影響分析—兵庫県神河町を事例として—, 農村計画学会誌論, 27, pp.311-316
- 宇野雄一・中塚雅也・鈴木武志・内平隆之・杉本敏男・川口友子・板倉礼実・丸山英樹・伊藤一幸 (2009) : 現地体験型農業学習の運営方法の評価, 日本農業教育学会誌, 40 (2), p.1-9
- 内平隆之・中塚雅也・加古敏之 (2009) : 地域連携活動における意識ギャップと評価手法に関する一考察, 農林業問題研究, 45 (1), pp.58-63
- 中塚雅也・星野 敏 (2008) : 農村生活に関する知識への認識と共有化の課題—篠山市 K 地区を事例として—, 農業経営研究, 46 (1), pp.160-164
- 山口 創・宇野雄一・中塚雅也 (2008) : 「黒大豆の栽培知識の所在傾向と管理—兵庫県篠山市を事例として—, 農業経営研究, 46 (2), pp.68-72
- 中塚雅也 (2008) : 属性と経験による地域コミットメントの相違に関する実証分析—篠山市 K 地区を事例として—, 農林業問題研究, 44 (1), pp.135-149
- 山下良平・中塚雅也・星野 敏 (2008) : マルチエージェント分析による集落自治組織再編の評価, 農林業問題研究, 44 (1), pp.116-121
- 横山玖洙・中塚雅也 (2008) : 地域インターンシップ制度の設計に関するアクションリサーチ, 神戸大学農業経済, 40, pp.23-32
- 板倉礼実・中塚雅也・宇野雄一 (2008) : 大学生を対象とした農業体験学習の意義と課題, 神戸大学農業経済, 40, pp.33-40
- 加古敏之・羽田幸代・宇野雄一・中塚雅也 (2008) : 篠山市における丹波黒産地の形成過程と現段階における課題, 農林業問題研究, 44 (1), pp.36-41
- 内平隆之・中塚雅也・加古敏之 (2008) : 農学分野における地域連携の枠組みと展望 —神戸大学大学院農学研究科と篠山市の連携を中心として—, 農林業問題研究, 44 (1), pp.129-134
- 中塚雅也・星野 敏 (2007) : 小学校区における自治組織の課題と再編の方向性—兵庫県篠山市草山地区を事例として—, 農村計画学会誌, 26 論文特集号, pp.299-334
- 横山玖洙・中塚雅也 (2007) : 地域インターンシップ精度の設計と運用に関する一考察—島根県隠岐郡海士町の商品開発研修生制度を事例として—, 農村計画学会誌, 26 論文特集号, pp.281-286
- 山口 創・中塚雅也・星野 敏 (2007) : 農村集落の社会的特性と定住に関する実証的分析—兵庫県篠山市を事例として—, 農村計画学会誌, 26 論文特集号, pp.287-292
- 板倉礼実・星野 敏・中塚雅也 (2007) : 子どもを介した保護者のネットワーク形成と地域活性化, 農村計画学会誌, 26 論文特集号, pp.293-298
- 中塚雅也・深町拓司・星野敏 (2007) : SWOT 分析を応用したワークショップ手法の開発, 神戸大学大学院自然科学研究科紀要, B, 25B pp.129-137
- 中塚雅也 (2007) : 農業分野における NPO 法人の区分と運営特性, 神戸大学農業経済, 神戸大学農学部, 39, pp.17-24

## その他の学術論文等

- 草苺 仁 (2009) : 戦後の食料消費と家計の役割, 季刊家計経済研究, 83, pp.12-25
- 草苺 仁 (2009) : 国産および輸入食料の需要体系分析による国産食料志向の研究, 科学研究費補助金研究成果報告書
- 草苺 仁 (2007) : 食料自給率向上の理論的根拠と政策シミュレーション, 科学研究費補助金研究成果報告書
- 山崎義人・中塚雅也・内平隆之・中塚華奈 : NPO で農山漁村, 枠の組み直し (10 農山漁村, NPO の広がり-56 の NPO) (2010), 建築雑誌 125(1607), p.23
- 中塚雅也・宇野雄一・加古敏之・川口友子・横山宜致・星野敏 (2009) : ナレッジマネジメントを導入したコミュニティ再生手法の開発, 平成 18 年度先端技術を活用した農林水産研究高度化事業報告書
- 中塚雅也 (2008) : 地域づくりリーダーの育成制度と知識管理, 平成 19 年度調査報告書, (財) 兵庫地域政策研究機構, pp.1-28
- 中塚雅也 (2007) : 地域づくりリーダーの特性と育成に関する研究, 平成 18 年度調査報告書, (財) 兵庫地域政策研究機構, pp.233-271

## 2. 学術講演

- 草苺 仁 (2010) : 農業における範囲の経済と所得移転効果, 2010 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2010 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K3-5, 京都大学吉田南総合館
- 阪本 亮・草苺 仁 (2010) : 稲作の構造変化と不確実性に関する計量分析, 2010 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2010 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K3-4, 京都大学吉田南総合館

- 谷 顕子・草薙 仁(2010):世代別食料消費の二極化傾向, 2010 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2010 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K5-3, 京都大学吉田南総合館
- 玉井大地・草薙 仁(2010):生産調整政策が農地貸借行動に与える影響ー交渉ゲームによるー考察ー, 2010 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2010 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K9-9, 京都大学吉田南総合館
- 草薙 仁(2009):農業と社会厚生, 2009 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2009 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K5-3, 筑波大学春日キャンパス
- 中川聡司・草薙 仁(2009):農業就業構造と農地貸借, 2009 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2009 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K4-7, 筑波大学春日キャンパス
- 阪本 亮・草薙 仁(2009):稲作における価格の不確実性と土地の限界生産物価値, 2009 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2009 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K4-11, 筑波大学春日キャンパス
- 谷 顕子・草薙 仁(2009):家計のサービス消費に関する需要分析, 2009 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2009 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K5-1, 筑波大学春日キャンパス
- 住本雅洋・草薙 仁(2009):食生活の洋風化と外部化に関する需要体系分析, 2009 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2009 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K5-2, 筑波大学春日キャンパス
- 玉井大地・豊田泰仁・草薙 仁(2009):バングラデシュのエビ養殖における土地契約の選択に関する分析, 2009 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2009 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K5-11, 筑波大学春日キャンパス
- 草薙 仁(2008):家計内生産効率と公共財供給, 2008 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2008 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K14, 宇都宮大学農学部
- 住本雅洋・草薙 仁(2008):内食と中食・外食との代替関係からみた生鮮野菜の需要分析, 2008 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2008 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K12, 宇都宮大学農学部
- 谷 顕子・草薙 仁(2008):家族の規模効果と家計需要分析, 2008 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2008 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K13, 宇都宮大学農学部
- 原 浩太・草薙 仁(2008):米作の非効率性と限界生産物価値, 2008 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2008 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K15, 宇都宮大学農学部
- 中川聡司・草薙 仁(2008):農地貸借と不確実性, 2008 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2008 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K16, 宇都宮大学農学部
- 阪本 亮・草薙 仁(2008):不確実性下における肉牛繁殖農家の動学的最適化問題, 2008 年度日本農業経済学会大会個別報告, 2008 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K17, 宇都宮大学農学部
- 阪本 亮・草薙 仁(2008):稲作農家の利潤効率性と減反政策, 第 58 回地域農林経済学会大会個別報告, 第 58 回地域農林経済学会大会報告要旨, p.1-8, 神戸大学農学部
- 玉井大地・草薙 仁(2008):経済発展が穀物需要に与える影響, 第 58 回地域農林経済学会大会個別報告, 第 58 回地域農林経済学会大会報告要旨, p.2-1, 神戸大学農学部
- 谷 顕子・草薙 仁(2008):家計の食料需要における嗜好および規模の効果, 第 58 回地域農林経済学会大会個別報告, 第 58 回地域農林経済学会大会報告要旨, p.2-4, 神戸大学農学部
- 住本雅洋・草薙 仁(2008):食の外部化要因と生鮮野菜需要, 第 58 回地域農林経済学会大会個別報告, 第 58 回地域農林経済学会大会報告要旨, p.2-5, 神戸大学農学部
- 草薙 仁(2007):食生活の志向に関する需要分析, 2007 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K57, 沖縄国際大学 5 号館
- 原 浩太・草薙 仁(2007):米作の費用関数分析と要素代替の弾力性, 2007 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K1, 沖縄国際大学 5 号館
- 中川聡司・草薙 仁(2007):農地貸借と戦略的行動, 2007 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K32, 沖縄国際大学 5 号館
- 住本雅洋・草薙 仁(2007):野菜の調理と価格弾力性, 2007 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K56, 沖縄国際大学 5 号館
- 谷 顕子・中 祐子・草薙 仁(2006):食料および非食料輸入の需要体系分析, 第 56 回地域農林経済学会大会報告要旨, p.89, 桃山学院大学教室棟 3 号館
- 阪本 亮・中 祐子・草薙 仁(2006):家計における生鮮果物消費の減少要因, 第 56 回地域農林経済学会大会報告要旨, p.90, 桃山学院大学教室棟 3 号館
- 草薙 仁(2006):家計生産の派生需要としての食料需要関数の計測, 2006 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K58, 明治大学駿河台校舎リバテ

ィタワー

- 住本雅洋・草苺 仁 (2006) : 食の外部化からみた生鮮野菜の需要分析, 2006 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.K59, 明治大学駿河台校舎リパティタワー
- 住本雅洋・草苺 仁 (2005) : 食の外部化と野菜需要, 2005 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.9, 北海道大学高等教育機能開発総合センター
- 草苺 仁 (2005) : 食の外部化と家族機能, 2005 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.44, 北海道大学高等教育機能開発総合センター
- 遠藤幸祐・草苺 仁 (2005) : 米作の生産関数分析と要素分配率, 2005 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.14, 北海道大学高等教育機能開発総合センター
- 遠藤幸祐・草苺 仁 (2004) : 減反政策と稲作経営安定対策の整合性, 2004 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.P3-1, 日本大学生物資源科学部
- 谷口葉子・草苺 仁 (2004) : 公的認証制度の経済価値—有機農産物を事例として—, 2004 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.5-6, 日本大学生物資源科学部
- 成 旁旭・草苺 仁 (2004) : 韓国における牛肉の供給変動が品質差別化と自給率に与える影響, 2004 年度日本農業経済学会大会報告要旨, p.5-10, 日本大学生物資源科学部
- 中塚雅也 (2010) : 多様な主体の協働による地域社会・農林業の豊かさの創造, 第 60 回地域農林経済学会大会シンポジウム, グローバル化時代における地域農林業の新しい地平を拓く, 京都大学
- 中塚雅也 (2010) : 地域づくり活動に対応した集落 SNS の開発と効果, 第 60 回地域農林経済学会大会報告要旨集, 京都大学
- 鈴木曜・中塚雅也 (2010) : 日本におけるトランジション・イニシアチブの実態と可能性, 第 60 回地域農林経済学会大会報告要旨集, 京都大学
- 山口創・中塚雅也 (2010) : 地域ナレッジの共有と集落特性の関係性, 第 60 回地域農林経済学会大会報告要旨集, 京都大学
- 内平隆之・中塚雅也 (2010) : 地域連携活動における農村地域サテライトの役割と課題, 第 60 回地域農林経済学会大会報告要旨集, 京都大学
- 中塚雅也 (2010) : 住民参加型コミュニティサイトの開発と導入, 2009 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, 東京大学
- 吉田直史・山口創・中塚華奈・中塚雅也 (2010) : 都市部における仮設直売所の運営と課題, 2010 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, 東京大学

- 中塚雅也・内平隆之 (2009) : 地域づくりリーダーの行動と育成の課題, 第 59 回地域農林経済学会大会報告要旨集, 高崎経済大学
- 鈴木曜・板倉礼実・中塚雅也 (2009) : 現地型農業体験学習のプログラム開発と学習プロセス, 第 59 回地域農林経済学会大会報告要旨集, 高崎経済大学
- 内平隆之・中塚雅也・加古敏之 (2009) : 我が国における“食農コブ教育”確立の意義と展望, 第 59 回地域農林経済学会, 高崎経済大学
- 吉田直史・中塚雅也 (2009) : 小学校区の地域自治組織設立における規約の特性と課題, 2009 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, pp.29-30, 東京大学
- 中塚雅也・川口友子・星野敏 (2009) : 地域自治コミュニティの再編プロセスと支援方策—「場」の生成の視点から—, 2009 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, pp.45-46, 東京大学
- 川口友子・中塚雅也・星野敏 (2009) : 自治体職員によるサポーター制度の運用と課題に関する一考察, 2009 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, pp.31-32, 東京大学
- 杉本敏男・宇野雄一・鈴木 武志・森本良太・中塚雅也・白石斎聖・阿江教治・増田亮一・伊藤一幸 (2009) : 2007 年の丹波篠山地方で栽培された丹波黒で多発した種子の裂皮の出現程度に及ぼす窒素施与条件の影響, 日本土壌肥料学会講演要旨集(55), p.105, 京都大学
- 張 京花・中塚雅也・高田 理(2008) : 韓国における一社一村運動の展開要因と課題, 第 58 回地域農林経済学会大会, 神戸大学
- 内平隆之・中塚雅也・加古敏之 (2008) : 地域連携活動における意識ギャップと評価指標に関する一考察, 第 58 回地域農林経済学会大会, 神戸大学
- 中村省吾・星野 敏・中塚雅也 (2008) : 地域づくりにおけるソーシャル・キャピタルの影響とその広がりに関する実証的研究, 2008 年度農村計画学会秋期学術研究発表会報告要旨集, p.21, 宇都宮大学
- 中塚雅也・山口 創・加古敏之 (2008) : 卸売商による産地育成と栽培知識の管理—丹波黒大豆卸商を事例として—, 平成 20 年度日本農業経営学会研究大会報告要旨, pp.162-163, 鳥取大学
- 山口 創・中塚雅也 (2008) : 黒大豆特産地にみる地域レベルの知識管理の実態と課題, 平成 20 年度日本農業経営学会研究大会報告要旨, pp.164-165, 鳥取大学
- 内平隆之・中塚雅也 (2008) : 都市商店街の空きスペースの活用による都市農村交流拠点形成—神戸

水道筋商店街におけるアクションリサーチー日本建築学会 2008 年度大会 (中国) 学術講演梗概集, E-2, 建築計画 II, 住居・住宅地・農村計画・教育, pp.573-574, 広島大学

宇野雄一・中塚雅也・鈴木武志・内平隆之・杉本敏男・川口友子・板倉礼実・丸山英樹・伊藤一幸 (2008): 大学教育における現地型農業体験学習の効果と課題ー農業農村フィールド実習を通じてー, 日本農業教育学会誌第 39 巻別号 p.53-56, 第 66 回日本農業教育学会, 滋賀大学

中村省吾・星野 敏・中塚雅也 (2008): コミュニティの地域力に関する実証的研究-兵庫県神河町を事例として-, 2008 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, pp.13-14, 東京大学

川口友子・中塚雅也 (2008): ガーデニングコミュニティにみる知識の伝達, 2008 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, pp.63-64, 東京大学

中塚雅也 (2007): 経験と属性による地域コミットメントの相違に関する実証的分析-篠山市 K 地区を事例として-, 第 57 回地域農林経済学会大会報告要旨集, p.79, 石川県立大学

山下良平・中塚雅也・星野 敏 (2007): マルチエージェント分析による集落自治組織再編の評価, 第 57 回地域農林経済学会大会報告要旨集, p.76, 石川県立大学

加古敏之・羽田幸代・宇野雄一・中塚雅也 (2007): 産地形成過程と現段階における課題ー篠山市の丹波黒を事例として-, 第 57 回地域農林経済学会報告要旨, p.61, 石川県立大学

内平隆之・中塚雅也・加古敏之 (2007): 農学分野における地域連携の枠組みと展望ー神戸大学大学院農学研究科と篠山市の連携を中心として-, 第 57 回地域農林経済学会報告要旨, p.78, 石川県立大学

中塚雅也・星野 敏 (2007): 小学校区における自治組織の構造的課題と再編の方向性, 2007 年度農

### 3. 博士・修士号取得者の氏名および論文題名 博士 (2010 年 3 月)

住本雅洋: 食生活の変化と家計の野菜需要に関する計量経済学的研究

仁平章子: 女性農業者の形成に関する研究ー女性農業者のキャリア形成と支援ー

### 博士 (2007 年 2 月)

谷口葉子: 有機農産物市場の新段階における流通と認証制度の分析

### 博士 (2004 年 9 月)

成 旁旭: 消費者の品質志向と農産物需要に関する計量経済学的研究ー日本における米と韓国にお

村計画学会秋期学術研究発表会報告要旨集, p.19, 岡山大学

横山玖洙・中塚雅也 (2007): 地域インターンシップ制度の設計と運用に関する一考察, 2007 年度農村計画学会秋期学術研究発表会報告要旨集, p.16, 岡山大学

山口 創・中塚雅也・星野 敏 (2007): 農山村集落の社会的特性と定住の関係, 2007 年度農村計画学会秋期学術研究発表会報告要旨集, p.17, 岡山大学

板倉礼実・星野 敏・中塚雅也 (2007): 子どもを介した保護者のネットワーク形成と地域活性化, 2007 年度農村計画学会秋期学術研究発表会報告要旨集, p.18, 岡山大学

山口 創・宇野雄一・中塚雅也・千藤貴博 (2007): 黒大豆の栽培知識の所在傾向と管理の方向性ー兵庫県篠山市を事例として-, 平成 19 年度日本農業経営学会研究大会, 東北大学

中塚雅也・星野 敏 (2007): 多様な担い手間における地域ナレッジの差異と共有化ー篠山市 K 地区を事例として-, 平成 19 年度日本農業経営学会研究大会, 東北大学

山口 創・中塚雅也・星野 敏 (2007): 集落のソーシャル・キャピタルと定住促進に関する一考察-兵庫県篠山市を事例として-, 2007 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, pp.61-62, 東京大学

宇野雄一・中塚雅也・加古敏之・千藤貴博・羽田幸代・星野 敏 (2007): 黒豆生産に関するナレッジの特性と管理の方向性-兵庫県篠山市を事例として-, 2007 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, pp.13-14, 東京大学

宇野雄一・中塚雅也・加古敏之・千藤貴博・羽田幸代・星野 敏 (2007): 黒豆生産に関するナレッジの特性と管理の方向性-兵庫県篠山市を事例として-, 2007 年度農村計画学会学術研究発表会紀要集, pp.13-14, 東京大学

ける牛肉の市場分析ー

### 修士 (2010 年 3 月)

金 輝: WTO 加盟後における中国の食糧安全保障に関する研究

阪本 亮: 稲作の構造改善と米政策の転換に関する実証的研究

谷 顕子: 生活の変遷からみる家計消費行動に関する分析

### 修士 (2009 年 3 月)

中川聡司: 農地貸借市場の特性と農家行動の計量分析

板倉礼実：大学生の農業体験学習における意識変化と学習プロセス

修士（2008年3月）

原 浩太：生産要素市場の競争性に関する米作の生産関数分析

修士（2006年3月）

仁平章子：農村女性のキャリア形成に関する研究—家族経営協定に焦点を当てて—

修士（2005年3月）

Andonov Ivan Georgiev: Analysis of Bulgarian Agricultural Policy Reforms in Transition Period

阪本聡子：食の外部化と家計内公共財の機能

#### 4. その他の学術研究活動

##### 研究助成金

科学研究費補助金基盤研究(C), 草苺 仁(代表): 日本農業の存在意義を問うための新たな枠組みと政策分析, 2010-2012 年度

科学研究費補助金基盤研究(B), 草苺 仁(分担): 少子高齢化社会における食の安全性とフードシステム, 2007-2010 年度

科学研究費補助金基盤研究(C), 草苺 仁(代表): 国産および輸入食料の需要体系分析による国産食料志向の研究, 2007-2008 年度

科学研究費補助金基盤研究(B), 草苺 仁(分担): コメ市場の自由化に向けた生産対応と政策設計のための計量経済学的研究, 2006-2008 年度

科学研究費補助金基盤研究(C), 草苺 仁(代表): 食料自給率向上の理論的根拠と政策シミュレーション, 2004-2006 年度

科学研究費補助金基盤研究(A), 中塚雅也(分担): 農業再建のための制度改革の地域計画論的総合研究, 2009-2013 年度

科学研究費補助金基盤研究(B), 中塚雅也(分担):

ナレッジマネジメントを応用した農村計画手法の開発, 2008-2010 年度

科学研究費補助金挑戦的萌芽研究, 中塚雅也(分担) 東アジア諸国におけるコミュニティ計画論の比較研究, 2009-2010 年

篠山市と神戸大学との官学地域連携研究, 中塚雅也(代表): 篠山市におけるナレッジマネジメントシステムの導入に関する研究, 2010 年度

篠山市と神戸大学との官学地域連携研究, 中塚雅也(代表): 篠山市におけるナレッジマネジメントシステムの導入に関する研究, 2009 年度

農林水産省・先端技術を活用した農林水産高度化事業, 中塚雅也, (2006 年度: 分担, 2007-2008 年度: 代表): ナレッジマネジメントを導入したコミュニティ再生手法の開発, 2006-2008 年度

篠山市と神戸大学との官学地域連携研究, 中塚雅也(分担): 丹波黒大豆の栽培試験による堆肥技術の向上と教育効果に関する研究, 2007 年度

##### 学外研究機関との共同研究

中塚雅也: 丹波地域集落活性化調査, (財) 兵庫丹波

の森協会, 2006-2007 年度

##### 学会活動

草苺 仁: 日本農業経済学会: 編集委員, 2008 年度-中塚雅也: 地域農林経済学会: 常任理事・組織広報担当, 2010 年度

中塚雅也: 農村計画学会: 学術交流委員, 2010 年度

中塚雅也: 地域農林経済学会: 常任理事・組織担

当, 2008-2009 年度

中塚雅也: 農村計画学会: 査読研究委員会査読委員, 国際交流委員, 事業企画委員, 2008-2009 年度

中塚雅也: 農村計画学会査読研究委員会査読委員, 2005-2009 年度

##### 社会活動

中塚雅也: 兵庫県農政環境部: 企業と農山村の連携活動推進プロジェクトチーム委員, 2010 年度

中塚雅也: NPO 法人食と農の研究所: 農林水産省・平成 21 年度広域連携共生・対流等対策交付金「都市部の商店街等と農山漁村を結んで展開する多面的連携を促進する取組」運営委員会委員, 2009-2010 年度

中塚雅也: 兵庫県企画県民局政策室: 兵庫の将来像

研究会「地域構造チーム」メンバー, 2009 年度

中塚雅也: 兵庫県企画県民局政策室: 小集落元気作戦「集落元気アドバイザー」, 2009 年度

中塚雅也: 農林水産省・仮設型直売システム普及事業(マルシェ・ジャポン・プロジェクト), マルシェ・ド・大阪テロワール実行委員会・委員, 2009 年度

中塚雅也: 大阪府: 大阪府新オアシス構想検討委員



会委員,2008 年度  
中塚雅也：全国土地改良事業団体連合会：農山漁村  
地域力発掘支援モデル事業アドバイザー（兵庫  
県佐用町，朝来市）  
中塚雅也：奈良県：集落営農塾基礎講座講師，  
2007-2008 年度  
中塚雅也：兵庫県自治研修所：兵庫県政策課題研究  
グループ研究アドバイザー，2008 年度  
中塚雅也：兵庫県神河町：神河町田園空間博物館基  
本構想検討委員会アドバイザー，2007-2008 年度

中塚雅也：兵庫県：ひょうごまちづくりセンターま  
ちづくり支援事業アドバイザー（兵庫県南あわ  
じ市），2008 年度  
中塚雅也：兵庫県：長寿社会プラン策定委員会委員，  
2006 年度  
中塚雅也：兵庫県丹波市：丹波市若者定住施策策定  
アドバイザー，2006 年度  
中塚雅也：NPO 法人食と農の研究所，理事，2003 年  
度-2009 年度

## 食料生産管理学分野

当分野は、人々が一日も欠かせない食料を長期にわたって持続的に生産しうる多様な農業技術と農業経営のあり方、ならびに生産者と消費者の持続的な関係について研究することを目的とし、主として協同組合および地域農業組織の経営および有機農業に関わる諸問題の解明に取り組んでいる。具体的には、農協の広域合併問題、地域農業の米政策への対応、新JAS制度下の有機農産物の流通問題、地域農業の活性化等、現在、我が国農業が直面する問題へのアプローチとして、農協による営農活動の充実・強化、集落営農の展開、農協や生協の組織力強化や両者による産消提携活動の可能性等について経済学や経営学、会計学的手法をもちいて研究を進めている。

### 1. 公表学術論文

#### 著書

- 古塚秀夫・高田 理 (2009) : 現代農業簿記会計, 農林統計出版, 東京, pp.1-290
- 高田 理 (2008) : 農協の総合事業の経営管理, 小池恒男編著, 農協の存在意義と新しい展開方向—他律的改革への決別と新提言—, 昭和堂, 京都, pp.82-98
- 高田 理 (2008) : 広域合併農協づくりの基本課題と県単一農協, 小池恒男編著, 農協の存在意義と新しい展開方向—他律的改革への決別と新提言—, 昭和堂, 京都, pp.211-229
- 高田 理・古塚秀夫 (2007) : 農業簿記 [改訂版], 全国農業協同組合中央会, 東京, pp.1-172
- 高田 理 (2007) : マチに届ける食の安全・安心, 高橋信正・金澤洋一編著, 田舎のちから—人／資源／環境／交流—, 昭和堂, 京都, pp.42-50
- 高田 理・中山昌美 (2007) : 田舎が活かす老人力, 高橋信正・金澤洋一編著, 田舎のちから—人／資源／環境／交流—, 昭和堂, 京都, pp.13-21
- 高田 理 (2007) : 協同組合運動は農業・農村を守るか, 大隈満・中道仁美・村田武編著, ゼミナール 現代社会と食料・環境・農業, 農山漁村文化協会, 東京, pp.71-81
- 高橋信正・新谷正彦・高田 理 (2004) : スカブミ県チサアート郡の農家経済, 本台進編著, 通貨危機後のインドネシア農村経済, 日本評論社, 東京, pp.59-71
- 高田 理・高橋信正 (2004) : 農民グループと村落ユニット協同組合の展開, 本台進編著, 通貨危機後のインドネシア農村経済, 日本評論社, 東京,

pp.73-94

- 伊庭治彦(2009) : キャリア・シフトをとおしての農業の革新, 小田滋晃他編著, 日本農業経営年報 No.7 農業におけるキャリア・アプローチ—その展開と論理—, 農林統計協会, pp.105-112
- 伊庭治彦(2009) : 地域社会に貢献する非営利組織におけるファイナル・キャリアの形成—集落営農「糠塚町生産組合」の取り組み—, 小田滋晃他編著, 日本農業経営年報 No.7 農業におけるキャリア・アプローチ—その展開と論理—, 農林統計協会, pp.202-213
- 伊庭治彦・仁平章子(2009) : 事業の多角的展開と女性農業者のキャリア・アップ, 小田滋晃他編著, 日本農業経営年報 No.7 農業におけるキャリア・アプローチ—その展開と論理—, 農林統計協会, pp.166-173
- 伊庭治彦 (2007) : 農業で楽しむ村の暮らし, 高橋信正・金澤洋一編著, 田舎のちから—人／資源／環境／交流—, 昭和堂, 京都, pp.32-41
- 伊庭治彦 (2005) : 地域農業組織の新たな展開と組織管理, 農林統計協会, 東京, pp.1-205
- 伊庭治彦 (2005) : 大規模水田農業経営のネットワークの機能と管理—ダイナミック・ネットワーク概念を視点として—, 金澤・納口・佐藤, 日本農業経営年報, 4, 農業経営の新展開とネットワーク, 農林統計協会, 東京, pp.215-228
- 伊庭治彦 (2004) : 産地ブランドを活用したマーケティングの展開, 高橋信正・奥村英一編, おもろい関西農業, 昭和堂, 京都, pp.140-151

#### 原著論文

- 張 京花・中塚雅也・高田 理 (2009) : 韓国における一社一村運動の展開要因と課題, 農林業問題研究, 45 (1), pp.143-148
- 高田 理 (2007) : 協同組合における定性分析による経営評価の意義と課題, 協同組合経営研究誌にじ, 617, pp.5-14
- 高田 理 (2006) : 農協の組織・運営の現状と進むべき方向, 農林金融, 59 (7), pp.16-26

- 高田 理 (2005) : 農協の「協同会社化」—動向と論点—, 協同組合研究, 24 (2), pp.20-27
- 高田 理 (2005) : JAにおける支所・支店のあり方と再編方向, 農業と経済, 71 (7), pp.77-85
- 高田 理 (2004) : 「協同会社化」成功の条件と課題, 農業協同組合経営実務, 59 (13), pp.60-65
- 高田 理 (2004) : 購買事業改革と協同会社の課題, 農業と経済, 70 (9), pp.44-53

仁平章子・伊庭治彦(2010)「女性農業者のダブルキャリア組織の機能と管理—ヘルシーママ SUN を事例として—」『農業普及研究』第 15 巻 2 号, pp.63-71

伊庭治彦(2010)「「小規模経営がモデル対策に加入した要因」『農業と経済』第 76 巻第 11 号, 昭和堂, 2010 年 10 月号, pp.46-55

伊庭治彦(2010)「農業経営支援のための助成金の制度と機能に関する考察—固定資産調達に対する助成金の非効率を視点として—」『農林業問題研究』第 46 巻第 1 号, pp.51-56

伊庭治彦(2010)「米国の小規模家族経営農場に対する支援システムの実態と論理—カリフォルニア州における支援活動を事例として—」『農業経営研究』第 48 巻第 1 号, pp.1-11

伊庭治彦(2010)「集落営農に与える戸別所得補償制度の影響」『農業と経済』第 76 巻第 6 号, 昭和堂, pp.51-58

小笠原明子・伊庭治彦(2009): 集落営農組織の情報ネットワーク構造と組織管理, 農林業問題研究, 45(3), pp.297-304

伊庭治彦(2009): 米国の農業改良普及事業—小規模農場支援の取り組みを事例として—, 農業普及研究, 日本農業普及学会, 第 28 号 (第 14 巻・第 1 号), pp.8-15

伊庭治彦(2009): 農村社会が集落営農に何を求めたか, 農業と経済, 第 75 巻第 12 号, 昭和堂, pp.32-40

伊庭治彦(2009): 農村参入のオーダーメイド化と生活面の支援, 農業と経済, 第 75 巻第 10 号, 昭和堂, pp.32-40

仁平章子・伊庭治彦 (2008): 女性農業者のキャリア形成を促進する支援のあり方, 農林業問題研究, 44 巻 2 号, p.33-42

## その他の学術論文等

高田 理 (2010): 金融事業 (信用事業、共済事業) 及び生活面事業活動 (店舗事業含む) を中心とする取り組み課題, JA 紀南「中期経営計画」策定支援事業実績報告書, 社団法人農業開発研修センター, pp.57-85

高田 理 (2010): 「守り」から「攻め」への大転換を!, 協同, 通巻 1239 号, 兵庫県農協中央会, p.6

高田 理 (2009): 生活面事業活動 (生活資材購買、葬祭、旅行含む) 及び金融事業 (信用事業、共済事業) を中心とする取り組み課題, JA 能登わかば「中期経営計画」策定支援事業実績報告書, 社団法人農業開発研修センター, pp.41-59

高田 理 (2008): 生活事業本部・金融事業本部を中心とする取り組み課題, JA えひめ南「第 4 次中期経営計画」策定支援事業実績報告書, 社団法人

小田滋晃・伊庭治彦・香川文庸 (2008): アグリ・フードビジネスとツーリズム・テロワール—「新ネットワーク論」に基づく地域産業クラスター研究の今日的課題—, 生物資源経済学研究, 京都大学, 第 13 号, pp.89-110

伊庭治彦・本田恭子・小田滋晃 (2007): 地域ぐるみ共同活動への参加意欲の形成要因と組織管理に関する考察, 農林業問題研究, 166, pp.107-111

伊庭治彦 (2007): 『定住農業』と『農業定住』—中山間地における集落営農の事業多角化の機能に関して—, 神戸大学農業経済, 39, 神戸大学, pp.1-10

伊庭治彦 (2006): 水田農業政策の転換と地域農業振興の課題—地域水田農業ビジョンの制約条件を視点として—, 神戸大学農業経済, 38, 神戸大学, pp.1-8

伊庭治彦・本田恭子 (2005): 地域資源の保全と防災機能に関する考察—2004 年台風 23 号の被災地域を事例として—, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 神戸大学, pp.335-343

山下良平・星野 敏・伊庭治彦 (2005): マルチエージェントモデルによる農地流動化要因の影響評価, 農村計画論文集, 7, pp.121-126

伊庭治彦・小田滋晃 (2005): わが国のワイナリー経営と地域活性化の論理—地方中小ワイナリーの事業多角化を視点として—, 日本ブドウ・ワイン学会誌, 116 (2), pp.60-67

山下良平・星野 敏・伊庭治彦 (2005): マルチエージェントシステムを用いた集落営農シミュレーションモデルの開発, 農林業問題研究, 41 (1), pp.60-65

伊庭治彦 (2004): 水田農業におけるコラボレーションの展開, 農林統計調査, 54 (3), pp.18-23

人農業開発研修センター, pp.88-104

高田 理 (2008): JA 改革下での“総合性”の意味と今日的意義, 農業協同組合経営実務, 63 (12), pp.2-7

高田 理 (2007): 集落営農の設立及び運営に向けた指導支援体制, 地域農場づくりの新たな戦略について, 農の担い手確保・育成・京都府農村振興課, pp.39-40

高田 理 (2006): 高齢者も立派な地域農業の担い手, 兵庫自治学会会報 Policy, p.4

高田 理 (2006): 県単一 JA 構想の検討, JA グループ栃木の将来ビジョンに関する調査研究報告書, 社団法人農業開発研修センター, pp.208-230

高田 理 (2005): 農協の組織, 農協の運営と経営, 農協組織・経営からみた長期的な展望, 農業協

- 同組合の今日的解釈と将来への展望, 全国農業協同組合中央会教育部, pp.13-15, pp.29-33, pp.62-63
- 高田 理・高橋信正 (2005): 農家の所得・消費構造と貧困の要因, インドネシア農村の貧困とその要因の分析, 科学研究費補助研究, pp.141-153
- 高田 理 (2005): J Aの地域農業振興・活性化に果たすべき役割と営農経済事業体制の整備方向, J A愛知東地域農業振興・活性化の基本方向と営農経済事業体制整備に関する調査診断報告書, 社団法人農業開発研修センター, pp.116-129
- 高田 理 (2005): 地域社会で重要なのは使命の明確化とその遂行, 家の光協会, J A教育文化, 61, pp.10-11
- 高田 理 (2005): 組合員の目線に立った地域密着型の J A運営を, 家の光協会, J A教育文化, 60, pp.4-5
- 高田 理 (2005): 必要なのは適正で強いトップ・マネジメント, 家の光協会, J A教育文化, 59, pp.8-9
- 高田 理 (2005): J A運動の基礎となる組合員組織の育成を, 家の光協会, J A教育文化, 58, pp.4-5
- Tim Matz, Liz Thach (原著), 横塚 弘毅, 小田 滋晃, 落合 孝次, 伊庭 治彦, 香川 文庸 (監訳)(2010) 『ワインビジネスブドウ畑から食卓までつなぐグローバル戦略』 昭和堂, pp.1-327
- 長谷祐, 川崎訓昭, 伊庭治彦, 落合孝次, 上田暢子, 小田滋晃『(2010)地域密着型ワイナリービジネスの事業構造に関する分析—製品ラインナップと財務構造を視点として—』『日本ブドウ・ワイン学会誌』 Vol.21. No23, pp.74-75
- 伊庭治彦(2010)「新基本計画と地域農業の対応」『協同』 2010 年 07 月号, 兵庫県農業協同組合中央会, p6
- 伊庭治彦(2009): 地域農業支援の再編に関する研究—米国における NPO による支援を視点として—, 協同組合奨励研究報告, 34 巻, pp.197-225
- 伊庭治彦(2009): アメリカの小規模家族農場の生き残り戦略—カリフォルニア州ケイペイバレーにみる取組—, 農業, 大日本農会, 1523 号, pp.65-69
- 川崎訓昭・伊庭治彦・落合孝次・上田暢子・小田滋晃 (2009): ワイン用ブドウの契約栽培と地域農業の振興, 日本ブドウ・ワイン学会誌, Vol.20. No.3, pp.108-109
- 仙田徹志, 伊庭治彦, 落合孝次, 上田 暢, 小田滋晃 (2007): ブドウ栽培・ワイン醸造事業への新規参入を巡る動向と今日的課題, 日本ブドウ・ワイン学会誌, 18 (3), pp.123-124
- 伊庭治彦・本田恭子 (2006): 経営構造対策等地区モデル実態調査報告書, 兵庫県農業会議, pp.1-21
- 伊庭治彦 (2006): 野菜、花き、花木、茶部門の振興・再生に向けた取り組み方策, 「JA 紀南地域農業振興・再生計画」策定支援実績報告書, (社) 農業開発研修センター, pp.81-95
- 伊庭治彦 (2006): 圃場整備事業の総合化と地域農業の組織化, 平成 17 年度ほ場整備の総合化手法の効果予測等に関する調査報告書, 日本農業土木総合研究所, pp.55-70
- 伊庭治彦 (2006): II. 地帯別課題 地域農業組織の組織管理, 安藤他, 地域水田農業ビジョン実践強化参考事例集—水田営農専門研究会とりまとめ—, 全国農業協同組合中央会, pp.89-96, pp.145-149
- 伊庭治彦 (2006): 集落営農の組織再編と組織管理, NOSAI, 全国農業共済協会, 58 (6), pp.32-371
- 伊庭治彦・落合孝次・上田暢子・小田滋晃 (2006): ツーリズム・テロワーを軸としたワイナリー事業の新たな可能性 1, 日本ブドウ・ワイン学会誌, 17 (3), pp.151-152
- 伊庭治彦・落合孝次・上田暢子・小田滋晃 (2005): ワイン産業の発展とツーリズム・テロワーその概念整理と日仏米比較—, 日本ブドウ・ワイン学会誌, 16 (3), pp.146-147
- 伊庭治彦 (2005): 水田農業のあり方と J Aの取り組み課題, JA 愛知東地域農業振興・活性化の基本方向と営農経済事業体制整備に関する調査診断報告書, 社団法人農業開発研修センター, pp.62-74
- 伊庭治彦・本田恭子 (2005): 氷上地域における地域ブランドの確立について, 平成 16 年度氷上地域広域農村整備事業基本調査報告書, 社団法人日本アグリビジネスセンター, pp.24-76
- 伊庭治彦 (2005): ほ場整備による地域農業・地域産業への影響調査, 平成 16 年度ほ場整備の総合化手法の効果予測等に関する調査 (1), ほ場整備の総合化手法効果予測報告書, 日本農業土木総合研究所, pp.56-78
- 伊庭治彦 (2005): 第 4 章近畿・滋賀県, 梶井功他, 米の生産コスト削減に係る調査報告書, 全国農業協同組合連合会・(社) 農協協会, pp.129-148
- 伊庭治彦・落合孝次・上田暢子・小田滋晃 (2004): わが国に於けるカスタム・クラッシュの課題と将来方向, 日本ブドウ・ワイン学会誌, 15 (3), pp. 139-140
- 伊庭治彦 (2004): 担い手経営の成長と集落営農の展開—氷上郡山南町・奥農用地利用改善組合を事例として—, 兵庫県農業会議, pp.1-20
- 伊庭治彦・津崎洋介 (2004): 氷上地域における集落営農の機能と展開方向, 広域農村整備事業基本調査報告書』社団法人日本アグリビジネスセン

ター, pp.39-73  
伊庭治彦 (2004) : 地域農業の振興と米政策対応のあ

り方, 情報・気象合同研究会資料, 近畿中国四  
国業研究センター, pp.13-21

## 2. 学術講演

呂 琳・小野雅之・高田 理 (2008) : 組合員からみた  
中国農民専業合作社の意義と課題—吉林省・梨  
樹県の事例を対象として—, 日本協同組合学会大  
会

張 京花・中塚雅也・高田 理 (2008) : 韓国における  
一社一村運動の展開要因と課題, 地域農林経済学  
会大会

高田 理 (2004) : 農協の「協同会社化」—動向と論  
点—, 日本協同組合学会大会, 報告要旨, pp.18-23

Haruhiko Iba, 'Community Supported Conservation  
Program in Japan', 73st Annual meeting of the Rural  
Sociological Society, How Flat Is Rural? Diversity in  
the Age of Globalization. August 12-15, 2010, The  
Westin Peachtree Plaza Hotel, Atlanta, Georgia, p110

伊庭治彦(2010): 米国における教育ファーム事業の実  
態と展開の論理, 地域農林経済学会第 60 回大会  
報告要旨集, p16

伊庭治彦(2009): 農業経営支援のための助成金の制度  
と機能に関する考察—米国における Farm to  
School Program を事例として—, 地域農林経済  
学会第 59 回大会報告要旨集, p2

Haruhiko Iba, Akihiro Takahashi(2009), 'Sustainability of  
Communal Farming in Japan: From the Viewpoint of  
Farmers' Contribution', 72st Annual meeting of the  
Rural Sociological Society, Climate Change and  
Societal Response: Livelihoods Communities, and  
the Environment, p76

Haruhiko Iba(2009), "Sustainability of communal  
farming in Japan-From a view point of support for  
small farms under globalization", Asian International  
symposium for agriculture-Climate Change and  
Globalization, Challenges to Sustainable Agriculture  
and Environment in Asia, Kobe University

伊庭治彦(2009): 米国の農業改良普及事業—小規模農  
場支援の取り組みを事例として—, 農業普及の  
研究と実践 (平成 20 年度春季大会資料), 日本  
農業普及学会, pp.3-8、

仁平章子・伊庭治彦(2009): 女性農業者のネットワー  
ク組織の機能と管理—ヘルシーママ SUN を事  
例として—, 農業普及の研究と実践 (平成 20 年  
度春季大会資料), 日本農業普及学会, pp.84-87

小笠原明子・伊庭治彦 (2008) : ネットワーク構造か  
らみる集落営農の組織管理と事業展開, 地域農  
林経済学会大会, 報告要旨, p.61

伊庭治彦 (2008) : 米国における小規模農場支援の実

態と論理, 日本農業経営学会研究大会, 報告要  
旨, pp.224-225

小林康志・伊庭治彦・落合孝次・上田暢子・小田滋  
晃 (2008) : 野生ブドウを主軸としたブドウ栽  
培・ワイン醸造事業の特質と課題, 日本ブドウ・  
ワイン学会大会, p.61

Haruhiko Iba, Akihiro Takahashi (2008) : Support for  
Small Farms in Japan: A Combination of Competitive  
Grants and Conditional Subsidies, 71st Annual  
meeting of the Rural Sociological Society, Rural  
Sociology as Public Sociology: Past, Present, Future,  
p.84

北西さやか・伊庭治彦 (2006) : 地域独自の認証制度  
の機能に関する分析, 日本有機農業学会 2006 年  
度大会, 報告要旨, pp.48-50

伊庭治彦・本田恭子・小田滋晃 (2006) : 地域ぐるみ  
共同活動への参加意欲の形成要因と組織管理に  
関する考察, 地域農林経済座学会 2005 年度大会,  
報告要旨, pp.35

伊庭治彦・本田恭子 (2006) : 農産物直売所への出荷  
行動の特性に関する考察, 日本農業経営学会  
2006 年度大会, 報告要旨, pp.231-234

本田恭子・伊庭治彦 (2005) : 地域住民の地域資源保  
全活動への参加要因に関する考察—兵庫県丹波  
市の用水路・ため池の保全活動を事例として—,  
地域農林経済座学会 2005 年度大会, 報告要旨,  
p.102

山下良平・星野 敏・伊庭治彦 (2005) : シミュレーシ  
ョンモデルを用いた農地流動化要因の影響評価,  
2005 年度農村計画学会学術研究発表会要旨集,  
pp.23-24

山下良平・星野 敏・伊庭治彦 (2004) : マルチエー  
ジェントシステムを用いた集落営農シミュレー  
ションモデルの開発, 地域農林経済学会, 大会  
資料, p.79

伊庭治彦 (2004) : 地域農業の振興と米政策対応のあ  
り方, 近畿中国四国農業試験場研究推進会議研  
究会, リモセン等の戦略的情報利用による米政  
策支援, pp.13-21

Haruhiko IBA, Koji OCHIAI, Shigeaki ODA (2004) :  
Wine Industry in Japan: Production, Distribution and  
Consumption, American Society for Enology and  
Viticulure 55<sup>th</sup> annual Meeting, Program & Exhibit  
Product Directory, General industrial Poster session,  
p.43

### 3. 博士・修士号取得者の氏名および論文題名

#### 修士 (2010 年 3 月)

小笠原明子：集落営農組織の情報ネットワーク構造と組織管理

#### 修士 (2009 年 3 月)

栗津昭朗：酒米産地の維持・発展に関する研究—酒米生産部会の取り組みを中心として—

細見篤史：新規参入者の就農促進に関する研究—取引費用の軽減を視点として—

#### 修士 (2008 年 3 月)

張 京花：農山村における都市農村交流の実態と活性化に関する研究—韓国の 1 社 1 村運動を中心として—

北西さやか：都道府県および市町村独自の農産物認証制度の役割と活用方法に関する研究—「ひょうご安心ブランド」、「こうべ旬菜」を事例として—

て—

横山玖洙：地域インターンシップ制度の設計と運用に関する考察

呂 琳：中国における農民專業合作社の意義と発展方向に関する考察—吉林省・梨樹県夏家農民專業合作社を事例として—

#### 修士 (2007 年 3 月)

都 春梅：J A 高齢者福祉事業の課題と展開に関する研究 — J A 兵庫六甲の高齢者生活支援の取り組みを事例として—

中井一志：耕作放棄の発生要因に関する考察—「評判」の機能を視点として—

#### 修士 (2006 年 3 月)

大原貴子：異種農業経営者間の資源の相互活用を図る組織マネジメントに関する研究

### 4. その他の学術研究活動

#### 研究助成金

科学研究費補助金基盤研究(B)，高田 理 (分担)：制度間競争下のわが国農村協同組織の制度デザイン，2008-2010 年度

科学研究費補助金基盤研究(C) (一般)，高田 理 (分担)：地域農業支援と関係機関のワンフロア化に関する研究，2007-2008 年度

科学研究費補助金基盤研究(A)(1)，高田 理 (分担)：欧州諸国における農業組織の発展と人材開発・確保に関する国際比較研究，2002-2005 年度

科学研究費補助金基盤研究(B)(2)，高田 理 (分担)：インドネシア農村の貧困とその要因の分析，2002-2005 年度

科学研究費補助金基盤研究(B)(2)，高田 理 (分担)：日本を含むアジア諸国の食料自給率の動向と農業の対応，2002-2005 年度

科学研究費補助金基盤研究(C)，伊庭治彦 (代表)：農業施策における競争型助成金の導入可能性と条件整備に関する研究，2009-2011 年度

科学研究費補助金基盤研究(C)，伊庭治彦 (分担)：農業における人的資源開発に関するキャリア・サイクル論的研究，2009-2011 年度

受託型協力研究，伊庭治彦 (分担)：篠山市の集落営農組織育成に係る調査・研究，2008 年度

科学研究費補助金基盤研究(C)，伊庭治彦 (分担)：政策転換期における集落営農組織の統合に関する組織論的研究，2007-2009 年度

科学研究費補助金基盤研究(C)，伊庭治彦 (代表)：地域農業支援と関係機関のワンフロア化に関する研究，2007-2008 年度

受託研究，伊庭治彦 (代表)：地域農業の振興のための多角的な事業展開に関する研究 (福崎町)，2006 年度

研究成果公開促進費 (学術図書)，伊庭治彦 (代表)：地域農業組織の新たな展開と組織管理，2005 年度

科学研究費補助金基盤研究(A)(1)，伊庭治彦 (分担)：欧州諸国における農業組織の発展と人材開発・確保に関する国際比較研究，2002-2005 年度

科学研究費補助金基盤研究(B)(1)，伊庭治彦 (分担)：ワイン・ビジネスの展開とそれを取り巻く社会・経済環境に関する国際比較研究，2002-2004 年度

#### 受賞

高田 理 (2010)：上記公表学術論文・著書高田 (2008)，小池恒男編著，農協の存在意義と新しい展開方向—他律的改革への決別と新提言—，昭和堂，京都，(2010 年度 J A 研究賞受賞)

伊庭治彦 (2005)：地域農業組織の新たな展開と組織管理，農林統計協会，pp.1-205，(2006 年度日本農業経営学会賞学術賞受賞)

伊庭治彦 (2002)：地域農業組織の多様性と組織再編

の効率性に関する分析－インフルエンス・コストを視点とする接近－，農林業問題研究，147，

pp.22-33，（2004年度地域農林経済学会賞学会誌賞受賞）

## 学会活動

高田 理：地域農林経済学会副会長，2010-2012 年  
高田 理：日本農業経済学会常務理事，2010-2012 年  
高田 理：兵庫県政学会評議員，2003 年-  
高田 理：地域農林経済学会監事，2008-2010 年  
高田 理：地域農林経済学会兵庫大会実行委員，2008 年  
高田 理：地域農林経済学会常任理事，2006-2008 年  
高田 理：日本農業経営学会理事，2003-2005 年

高田 理：地域農林経済学会常任理事，2002-2004 年  
高田 理：日本協同組合学会理事，2002-2004 年  
高田 理：日本フードシステム学会理事，2002-2004 年  
伊庭治彦：地域農林経済学会常任理事，2010-2012 年  
伊庭治彦：日本農業経営学会理事，2010-2012 年  
伊庭治彦：地域農林経済学会常任理事，2006-2008 年  
伊庭治彦：地域農林経済学会常任理事，2002-2004 年

## 社会活動

高田 理：神戸市農漁業ビジョン懇話会委員，2010-2011 年  
高田 理：兵庫県・丹波地域農林水産ビジョン検討委員会委員・会長，2010-2011 年  
高田 理：兵庫県・東播磨地域農林水産ビジョン検討委員会委員・会長，2010-2011 年  
高田 理：（社）兵庫みどり公社アドバイザー，2003-2005 年，2005-2007 年，2007-2009 年，2009-2011 年  
高田 理：兵庫県・兵庫楽農生活センター「農機具展示庫」活用事業提案選考委員会委員，2010 年  
高田 理：神戸市・神戸市中央卸売市場業務運営協議会委員・会長，2004-2006 年，2006-2008 年，2008-2010 年  
高田 理：神戸市・神戸市中央卸売市場青果部運営審議会委員，2004-2006 年，2006-2008 年，2008-2010 年  
高田 理：全国農業協同組合中央会・JA研究表彰奨励選考委員会委員，2004-2005 年，2005-2006 年，2006-2007 年，2007-2008 年，2008-2009 年，2009-2010 年，2010-2011 年  
高田 理：（株）農林中金総合研究所・「農林金融」評議委員会委員，2007-2009 年，2009-2011 年  
高田 理：神戸市・神戸市中央卸売市場機能等検討委員会委員，2006 年-  
高田 理：兵庫県・遊休農地等を活用したバイオマス燃料検討委員会委員・会長，2007-2008 年  
高田 理：兵庫県・遊休農地等を活用したバイオマスエネルギー利用検討委員会委員，2006-2007 年  
高田 理：兵庫県・卸売市場審議会委員，2002-2004

年，2005-2007 年  
高田 理：京都府・農の担い手確保・育成アクションプラン政策検討会委員，2006-2007 年  
高田 理：（社）農業開発研修センター参与，2006 年-  
高田 理：近畿農業協同組合研究会運営委員，1990 年-  
高田 理：神戸市・神戸市市場取引委員会委員・会長，2005 年-  
高田 理：兵庫県・東播磨地域農林水産ビジョン検討委員会委員・会長，2005-2006 年  
高田 理：神戸市・神戸市中央卸売市場本場再整備事業者選定審査委員会委員，2004-2005 年  
伊庭治彦：京都府「京都府農林水産振興構想検討委員会」委員 2010 年度  
伊庭治彦：兵庫県「豊かなふるさとづくり推進委員会」委員 2010 年度  
伊庭治彦：近畿農政局「国営事業評価技術検討会」委員 2010 年度  
伊庭治彦：加古川市「農業地域振興協議会」委員 2009-2010 年度  
伊庭治彦：兵庫県農地・水・環境保全向上対策推進委員 2008-2009 年度-  
伊庭治彦：兵庫県中山間地域等直接支払制度推進委員 2008-2009 年度-  
伊庭治彦：滋賀県施策・事業仕分け会議委員，2006-2007 年度  
伊庭治彦：兵庫県西播磨県民局，『食と悠の郷』構想策定委員会委員，2002-2003 年度-

## 食料情報学分野

食料情報学では、世界や日本に見られる食料・環境問題とそれらの有効な解決方法や、食料・農産物流通システムのあり方などの課題について、主として統計情報やインターネット情報の利用、実態調査による研究を行っており、具体的には下記のとおりである。(1) 食料消費・摂取統計や地域別統計を対象として、食料・農業の政策立案・評価の基礎資料となる統計情報の真実性確保や国際比較の可能性についての研究を行っている。(2) 日本及びイギリスの農業・食料などの統計情報の収集過程対象として、統計情報の作成過程と、その背景としての国家・社会・政治状況との歴史的文脈について研究を進めている。(3) インドにおける有機農産物および有機農薬であるニームの農民への普及過程について、研究を進めつつある。(4) インドにおける統計情報の真実性とその利用に関する研究も進めつつある。(5) 急激に進んでいる食品小売業の再編とそれが食料・農産物の生産・流通システムに与える影響について、統計情報やインターネット情報の利用や実態調査などに基づいた研究を行っている。(6) 米と青果物を対象に、政策や流通の変化とそのもとで産地マーケティングの展開方向について、統計情報の利用や産地・流通業者・卸売市場の実態調査などに基づいた研究を行っている。(7) 日本、中国、韓国、台湾を対象に、東アジアにおける生鮮食料品流通システムの変化と農民組織の形成・展開過程に関する比較研究を、統計情報やインターネット情報、中国・韓国・台湾での実態調査などに基づいて行っている。

### 1. 公表学術論文

#### 著書

小野雅之 (2008) : 米フードシステムの変化と米政策の転換, 農業問題研究学会編, 農業構造問題と国家の役割, 筑波書房, 東京, pp.87-113  
小野雅之 (2008) : 米市場変革期における産地マーケティング戦略の課題, 日本農業経営学会編, 与件大変動期における農業経営, 農林統計協会, 東京, pp.240-258  
小野雅之 (2007) : 女性パワーが目覚めれば, 高橋信正・金澤洋一編著, 田舎のちから一人/資源/環境/交流一, 昭和堂, 京都, pp.51-60  
小野雅之 (2007) : だだちゃ豆で田舎をおこす, 高橋信正・金澤洋一編著, 田舎のちから一人/資源/環境/交流一, 昭和堂, 京都, pp.107-116  
小野雅之 (2006) : わが国農林水産業の動向, 加藤義忠監修・日本流通学会編, 現代流通事典, 白桃書房, 東京, pp.194-195  
小野雅之 (2006) : 農産物市場・流通政策, 加藤義忠監修・日本流通学会編, 現代流通事典, 白桃書房, 東京, pp.198-199  
坂下明彦・朴 紅・小野雅之 (2006) : 村民委員会組織型の原料集荷体制, 坂爪浩史・朴紅・坂下明彦編著, 中国野菜企業の輸出戦略—残留農薬事件の衝撃と克服過程—, 筑波書房, 東京, pp.45-65  
朴 紅・坂下明彦・小野雅之 (2006) : 中間商人・一次加工業者利用型の原料集荷体制, 坂爪浩史・朴 紅・坂下明彦編著, 中国野菜企業の輸出戦略—残留農薬事件の衝撃と克服過程—, 筑波書房, 東京, pp.23-44  
小野雅之 (2006) : WTOのもとでの米政策と米流通, 橋本卓爾・大西敏夫・藤田武弘・内藤重之編著, 食と農の経済学 (第2版), ミネルヴァ書房, 京都, pp.81-94

小野雅之 (2005) : 農業者によるネットワーク型米販売事業体の形成—「庄内こめ工房」の展開過程—, 納口るり子・佐藤和憲編集, 農業経営の展開のネットワーク, 農林統計協会, 東京, pp.19-31  
小野雅之 (2004) : お得意さんは地元消費者—兵庫六甲農協の米独自マーケティング—, 高橋信正・奥村英一編, おもしろい! 関西農業—その源泉を探る—, 昭和堂, 京都, pp.126-139  
小野雅之 (2004) : カントリーエレベーターを拠点とした米マーケティング—山形県JAあまのめ—の事例—, 高橋正郎・稲本土良編集, 地域営農の展開とマネジメント, 農林統計協会, 東京, pp.214-222  
金子治平・杉橋やよい・安井浩子・米澤香(2009) : 統計データでみる世帯別所得分布, 統計分析プロジェクト研究会編, 家計所得の国際比較研究, 統計情報研究開発センター, 東京, pp.93-111  
金子治平(2009) : 公共財としての統計, 杉森晃一・木村和範・金子治平・上藤一郎編著, 社会の変化と統計情報, 北海道大学出版会, 札幌, pp.3-26  
金子治平 (2007) : 第1編IV 統計の真実性, 第2編III 食料, 良永康平・御園謙吉編著, よくわかる統計学II経済統計編, ミネルヴァ書房, 京都  
金子治平 (2007) : VII 母集団と標本, IX 統計的検定, X 標本調査法, 金子治平・上藤一郎編著, よくわかる統計学I基礎編, ミネルヴァ書房, 京都  
金子治平 (2005) : 国勢調査と事業所・企業統計調査による産業別人口と地域経済, 地域経済と人口統計研究会編, 地域経済と人口統計に関する研究, 財団法人統計情報研究開発センター, 東京



## 原著論文

- 小森崇史・小野雅之(2010):JAグループによる米トレーサビリティシステム構築の現状と課題ーJA全農京都のトレーサビリティへの取り組みを事例としてー, 農業市場研究,
- 小野雅之(2010):米の価格動向と流通再編ー川下のバイニング・パワーの強まりー, 農業と経済, 76(12), pp.17-25
- 辻政良・小野雅之(2009):地方都市小規模卸売市場における地場産農産物の集荷力強化に向けた事業展開と課題ー豊岡中央青果地方卸売市場の事業展開を事例としてー, 2009年度日本農業経済学会論文集, pp.174~181
- 宮井浩志・小野雅之(2009):ミカン銘柄産地における高品質果生産対応の特徴と課題ーJAにしよう真穴柑橘共同選果部会を事例としてー, 農業市場研究, 18(2), pp.53~59
- 吉雅図・小野雅之(2009):中国・内モンゴルにおける草原保護政策下での牧羊経営の変化ーシリンドル草原地域を事例としてー, 農林業問題研究, 45(2), pp.212-217
- 小野雅之(2009):JAグループは組合員の販売力強化の要望にどう応えるかー大規模小売業者のバイニング・パワーへの対抗の方向と課題ー, 農業と経済, 75(8), pp.33-40
- 小野雅之(2009):規制緩和は米流通をどう変えたか, 農業と経済, 75(4), pp.5-13
- 大西千絵・小沢 互・金成學・小野雅之(2008):「市」と「直売所」における性格の相違点と今後の展開方向, フードシステム研究, 15(3), pp.1-10
- 宮井浩志・小野雅之(2008):ミカン農業再編期におけるミカン作経営対応の特徴に関する研究ー福岡県やめ地域における「早出し」対応を事例としてー, 神戸大学農業経済, 40, pp.7-15
- 小野雅之(2008):米需要の変化と産地マーケティング, 北陸作物学会報, 43, pp.143-147
- 小野雅之(2007):米市場変革期における産地マーケティング戦略の課題, 農業経営研究, 44(4), pp.37-46
- 小野雅之(2007):全農米穀事業改革は功を奏するの, 農業と経済, 73(3), pp.49-58
- 大西千絵・小沢 互・金 成學・小野雅之(2006):農産物直売活動における生産者と消費者との距離ー販売活動の主体の違いに着目してー, 2006年度日本農業経済学会論文集, pp.111-118
- 大西千絵・小野雅之(2006):「市」の特徴を活かした直売活動の展開戦略に関する考察, 東北農業経済研究, 24(1), pp.1-10
- 小野雅之(2006):2004年卸売市場法改正の特徴と歴史的意義に関する商業論的考察, 神戸大学農業経済, 38, pp.9-16
- 大西千絵・小沢 互・小野雅之(2006):直売グループ参加農家の販売チャネルの拡大とその意義ー山形県金山町夢市グループを事例としてー, フードシステム研究, 12(3), pp.13-25
- 藤科智海・小沢 互・小野雅之(2005):立川町地域資源循環システムに対する一般家庭の負担感, 東北農業経済研究, 23(2), pp.127-132
- 小野雅之(2005):流通再編と東北の米, 東北農業経済研究, 23(2), pp.15-24
- Saediman, M.Ono(2004):Operational Characteristics of the Joint Buying System in Japan's Consumer Co-operatives, Jurnal Sosail Ekonomi Pertanian, 14, pp.51-60
- Saediman, S.Ibrahim, R.Patria and M.Ono(2004):Marketing Margins of Vegetables in Kendari of Southeast Sulawesi, Indonesia, 2004年度日本農業経済学会論文集, pp.434-440
- 小野雅之・小沢 互(2004):商業統計調査からみる食品流通, 農林統計調査, 54(5), pp.11-17
- Joshi Abhai・Yoshifumi Usami・Kaneko Jihei(2010):Farmers' participation in weekly organic bazaars in Aurangabad, India, 農林業問題研究, 179, pp.301-307
- Joshi Abhai・Kaneko Jihei(2009):Economics of Neem Pesticide Application: A Case Study in Nagpur and Wardha, India, 農林業問題研究, 175, pp.231-236
- Joshi Abhay・Kaneko Jihei(2007):Farmer's adoption of neem as an organic pesticide in Nagpur, India: A case study of "The Neem Foundation" activities, 農林業問題研究, 164, pp.252-255
- 米澤 香・金子治平(2007), 統計調査別の所得分布について, 統計学, 93, pp.20-34
- 金子治平(2006):統計の社会的役割と統計行政改革, 農業と経済, 72(8), pp.54-64
- 金子治平(2006):統計の作成・公表・利用における公共性, 統計学, 90, pp.3-14
- 山下裕歩・金子治平・杉橋やよい(2006):日本における男女別の就業形態選択行動, 神戸大学農業経済, 38, pp.25-32
- 金子治平・杉橋やよい・山下裕歩(2006):正規雇用者男女間所得格差の要因分解法とその結果, 神戸大学農業経済, 38, pp.47-50
- 金子治平・杉橋やよい・山下裕歩(2005):雇用形態別にみた男女間所得格差の変化, 法政大学日本統計研究所報, 34, pp.1-19
- 金子治平・杉橋やよい・山下裕歩(2005):正規・非

正規労働者の年間所得格差の要因分解, 大阪市立大学季刊経済研究, 28 (1), pp.19-31  
杉橋やよい・金子治平 (2004) : 日本とイギリスにおける男女間の賃金/所得格差の要因分析, 法政大

## その他の学術論文等

小野雅之 (2009) : 地域特産物 (丹波篠山黒豆) マーケティング戦略構築に関する研究, 丹波篠山黒豆マーケティング戦略研究会, pp.1~27  
小野雅之 (2008) : フードシステムの変化と「農業を中心とした地域複合体」経営の意義, 丹波黒を基軸とする地域産業複合体形成の可能性に関する研究報告書, pp.22-26  
小野雅之 (2007) : 農業参入のメリットを最大限に生かす, 神戸商工だより, 2007 年 11 月号, pp.8-9  
小野雅之 (2007) : 新政策下のコメ主産地と流通の再編動向, 協同組合研究, 26 (2), pp.2-5  
小野雅之 (2007) : J A グループの米穀事業の問題点と課題は何か, 地域農業と農協, 36 (4), pp.39-48  
小野雅之 (2007) : 米市場変革と産地マーケティング, 農業, 1492, pp.52-71

## 2. 学術講演

小野雅之 (2010) : 日本における卸売市場の動向と卸売御者の経営問題, 東北アジア農産物市場制度・流通改革フォーラム 2010 年国際シンポジウム (台湾)  
宮井浩志・小野雅之 (2010) : 高品質ミカン生産における組織的栽培管理の意義と課題ー和歌山県有田地域K共選組合を事例に, 2010 年度日本農業市場学会大会  
張 艶潔・小野雅之 (2009) : 中国における良好農業規範 (GAP) 導入の特徴と意義ー山東省のG A P 導入企業の事例分析ー, 2009 年度日本農業市場学会大会  
小森崇史・小野雅之 (2009) : J A グループにおけるコメトレーサビリティシステム構築の現状と課題ーJ A 全農協とのトレーサビリティへの取り組みを事例としてー, 2009 年度日本農業市場学会大会  
辻政良・小野雅之 (2009) : 地方都市小規模卸売市場における地場産青果物の集荷力強化に向けた事業展開と課題ー豊岡中央青果地方卸売市場の事業展開を事例としてー, 2009 年度日本農業経済学会大会  
宮井浩志・小野雅之 (2008) : ミカン銘柄産地における高品質果生産対応の特徴と課題ーJ A にしうわ真穴柑橘共同選果部会を事例にー, 2008 年度日本農業市場学会大会  
呂 琳・小野雅之・高田 理 (2008) : 組合員からみた

学日本統計研究所研究所報, 32, pp.137-159  
金子治平 (2004) : 消費者から見た生鮮野菜の安全性, 神戸大学農業経済, 37, pp.1-6

小野雅之 (2005) : 2004 年卸売市場法改正の歴史的  
位置, 農業市場研究, 62, pp.29-32  
金子治平・池田 伸・住本雅洋・米澤 香・安井浩子 (2007) : 国際比較可能な統計データの提供ー雇用指標と家計調査ー (家計調査の日英比較), 統計分析プロジェクト研究会報告書ー平成 18 年度一, pp.93-110  
金子治平 (2006) : 農業統計の作成と利用を考える, 地域農業と農協, 36 (1), pp.4-7  
加古敏之・金子治平 (2005) : 中越地震災害時における食料問題と農業関連被害, 平成 16 年度突発災害調査報告書, 神戸大学都市安全研究センター, pp.93-103  
金子治平 (2004) : 生鮮野菜に関する食品安全行政とトレーサビリティ, 近畿の園芸, 5, pp.2-7

中国農民專業合作社の意義と課題ー吉林省・梨樹県の事例を対象としてー, 第 28 回日本協同組合学会大会  
吉雅図・小野雅之 (2008) : 中国・内モンゴルにおける草原保護政策下での牧羊経営の変化ーシリンゴル草原地域を事例としてー, 第 58 回地域農林経済学会大会  
小野雅之 (2007) : コメ需要の変化と産地マーケティング, 日本作物学会北陸支部第 44 回シンポジウム  
殷 楽・小野雅之 (2007) : 中国における食糧流通システム転換中の国有食料企業改革に関する一考察ー河北省を事例としてー, 日本農業市場学会 2007 年度大会  
小野雅之 (2006) : 米市場変革期における産地マーケティング戦略の課題, 2006 年度日本農業経営学会研究大会シンポジウム  
小野雅之 (2006) : 食生活の変化と食品流通, 日本調理科学会近畿支部研究会  
小野雅之 (2006) : 新政策下のコメ主産地と流通の再編動向, 日本協同組合学会第 26 回大会地域シンポジウム  
大西千絵・小沢 互・金 成学・小野雅之 (2006) : 「市」と直売所における性格の相違点と今後の展開方向, 2006 年度日本フードシステム学会大会  
大西千絵・小沢 互・金 成學・小野雅之 (2006) : 農

産物直売活動の社会的距離に関する研究－山形県の「市」と直売所を事例として－, 2006 年度日本農業経済学会大会

小野雅之 (2006) : 米政策・流通の現段階と産地マーケティング, 農業理論研究会研究例会

小野雅之・目黒愛子 (2005) : 地域特産野菜ブランド化によるマーケティング戦略の展開－山形県鶴岡市だだちゃ豆を事例として－, 日本農業市場学会 2006 年度大会

藤科智海・小沢 互・小野雅之 (2004) : 立川町地域資源循環システムに対する一般家庭の参加意識, 第 40 回東北農業経済学会

小野雅之 (2004) : 流通再編と東北の米, 第 40 回東北農業経済学会シンポジウム

大西千絵・小野雅之 (2004) : 直売グループ参加農家の販売チャネルの拡大とその意義－山形県金山町夢市グループを事例として, 2004 年度日本フードシステム学会大会

米澤香・安井浩子・杉橋やよい・金子治平(2010) : イギリスにおける社会保障給付の捕捉率推計方法についての検討, 第 54 回(2010 年度)経済統計学会全国研究大会

米澤香・安井浩子・杉橋やよい・金子治平(2009) : イギリスの EFS マイクロ・データと税・社会保障, 第 53 回(2009 年度)経済統計学会全国研究大会

Joshi Abhay・Jihei Kaneko・Yoshifumi Usami(2009) :

Farmer's participation in weekly organic bazaar in Aurangabad, India, 第 59 回地域農林経済学会大会

Joshi Abhay・Yoshifumi Usami・Kaneko Jihei (2008) : Economics of Neem Pesticide Application : A Case Study in Nagpur and Wardha, India, 第 58 回地域農林経済学会大会報告要旨, p.120

Joshi Abhay・Kaneko Jihei (2006) : Farmer's adoption of neem as an organic pesticide in Nagpur, India: A case study of "The Neem Foundation" activities, 第 56 回地域農林経済学会大会報告要旨, <http://www.soc.nii.ac.jp/arfe/taikai/2008/summaries/zusammenfassung/4%20room/4-9Abhay.pdf>

米澤 香・金子治平 (2006) : 統計調査別の所得分布について, 経済統計学会第 50 回全国研究総会報告要旨集, pp.8-9

金子治平 (2006) : 最近の農林統計の動向について, 統計研究会

金子治平 (2005) : 統計の作成・公表・利用における公共性, 経済統計学会第 49 回全国研究総会

金子治平・山下裕歩・杉橋やよい (2005) : 女性と男性の所得及び就業構造の分析, ミクロ統計活用研究会研究結果報告会

金子治平・杉橋やよい・山下裕歩 (2004) : 所得関数の推定による男女間の所得格差の要因分析, ミクロ統計活用研究会研究結果報告会

### 3. 博士, 修士号取得者の氏名および論文題名

博士 (2010 年 3 月)

JOSHI ABHAY YASHWANT : Organic farming adoption and marketing in India : case studies of Neem Foundation and Institute for Integrated Rural Development in Maharashtra, India

修士 (2010 年 9 月)

平林和美 : 介護保険制度の農山村部における現状と課題

修士 (2010 年 3 月)

菅沼宏平 : 全農県本部による米安定契約取引の現状と課題－全農滋賀県本部の収穫前三者契約を事例に－

修士 (2009 年 3 月)

張艶潔 : 中国における良好農業規範 (GAP) 導入の特徴と意義－山東省の GAP 導入企業の事例分析－

辻政良 : 青果物卸売業者の集荷力強化に向けた共同

集荷の役割と課題－ひょうご卸売市場協働ネットワーク推進協議会による「協働集荷」を事例に－

修士 (2008 年 3 月)

吉雅図 : 中国・内モンゴルにおける草原砂漠化の進行と牧羊経営の変化－シリングル高原地域を事例として－

内田規令 : 食品安全行政に対する知識と食品の安全性意識

修士 (2007 年 3 月)

秦 志軍 : 農業統計の正確性に関する研究

修士 (2005 年 3 月)

JOSHI ABHAY YASHWANT : NGO's Activities to Promote Neem Use in Agriculture in India : A Case Study of "Neem Foundation" in Nagpur, Maharashtra

### 4. その他学術研究活動

研究助成金

科学研究費補助金基盤研究(B), 小野雅之 (代表) :  
農水産物における垂直的マーケティング・システム形成の態様に関する実証的研究, 2009-2011 年度

科学研究費補助金基盤研究(B), 小野雅之 (代表) :  
卸売市場制度「大転換」期における卸売企業の商業機能拡充の態様に関する実証的研究, 2006-2008 年度

科学研究費補助金基盤研究(C), 小野雅之 (分担) :  
農業経営のネットワーク組織と農業経営者の主体形成に関する研究, 2006-2008 年度

科学研究費補助金基盤研究(B)(2), 小野雅之 (分担) :  
米産業の競争構造とマーケティング対応型産地再編戦略に関する研究, 2004-2006 年度

科学研究費補助金基盤研究(B)(1), 小野雅之 (代表) :  
大競争時代におけるスーパー生鮮食品マーケティングの類型論的・動態的研究, 2002-2004 年度

科学研究費補助金基盤研究(B)(1), 小野雅之 (分担) :  
「原料・原産地表示」義務下における食品産業と国内農業との連携可能性, 2002-2004 年度

受託研究, 小野雅之 (代表) : 中央卸売市場東部市場の再編に向けた調査及び検討業務 (神戸市), 2010 年度

受託研究, 小野雅之 (分担) : 広域農村総合整備基本調査 (有田地域) (近畿農政局), 2005 年度

奨学寄付金, 小野雅之 (分担) : 米販売戦略研究奨学寄付金 (山形県農業協同組合中央会), 2007 年

#### 学外研究機関との共同研究

小野雅之 : 篠山市・JA ささやま・篠山市商工会議所・丹波篠山観光協会, 地域特産物 (丹波篠山黒豆) マーケティング戦略構築に関する研究, 2008-2009 年度

小野雅之 : 山形大学農学部・宮城大学食産業学部, JA 山形中央会, 米販売戦略に関する研究, 2007 年度

小野雅之 : 篠山市, 黒大豆を基軸とした地域産業複合体形成に関する研究, 2007 年度

#### 受賞

小野雅之 : 日本農業市場学会賞, 2009 年

#### 学会活動

小野雅之 : 日本協同組合学会理事, 2009-2010 年度

小野雅之 : 流通経済研究会幹事, 2009-2011 年度

小野雅之 : 日本農業市場学会理事, 学会賞選考委員  
2004-2007 年度, 副会長 2008-2011 年度

小野雅之 : 日本流通学会企画委員, 2004-2012 年度

小野雅之 : 日本流通学会近畿・中四国部会幹事,

度

篠山市と神戸大学との官学地域連携研究, 小野雅之 (代表) : 地域特産物の地域内流通システム構築に関する研究, 2009 年度

篠山市と神戸大学との官学地域連携研究, 小野雅之 (代表) : 地域特産物 (丹波篠山黒豆) マーケティング戦略構築に関する研究, 2008 年度

篠山市と神戸大学との官学地域連携研究, 小野雅之 (分担) : 黒大豆を基軸とした地域産業複合体形成の可能性に関する研究, 2007 年度,

科学研究費補助金基盤研究(C), 金子治平 (分担) : インドの小地域住民全数データを参照基準にした途上国センサス・行政データの研究, 2009-2011 年度

科学研究費補助金基盤研究 (B), 金子治平 (分担) : 政府統計データのアーカイビングシステムの構造と機能に関する国際比較研究, 2010 年度

科学研究費補助金基盤研究 (萌芽), 金子治平 (分担) : 旧積雪地方農村経済調査所による戦前期農家経済調査の体系的保存と有効活用の基盤確立, 2010 年度

篠山市と神戸大学との官学地域連携研究, 金子治平 (代表) : 篠山市アグリプランの施策効果の評価手法の検討について, 2010 年度

科学研究費補助金基盤研究 (萌芽), 金子治平 (分担) : 戦前農家経済調査の体系的保存と活用方法の基盤確立に向けた基礎的研究, 2008-2009 年度

小野雅之 : 中国遼寧省農村経済研究所, 農民共同組織の形成・展開に関する日中共同研究, 2004-2007 年度

金子治平 : 篠山市, 篠山市アグリプランの施策効果の評価手法の検討について, 2010 年度

金子治平 : 統計情報研究開発センター, 国際比較可能な統計データの提供一家計調査と雇用指標

金子治平 : 京都大学, 統計の二次利用に関する研究

小野雅之 : 地域農林経済学会特別賞, 2005 年

2006-2011 年度

小野雅之 : 日本フードシステム学会理事, 2008-2011 年度

小野雅之 : 地域農林経済学会常任理事 (企画担当)  
2007-2008 年度

小野雅之：東北農業経済学会理事，2006-2011 年度  
金子治平：地域農林経済学会常任理事（編集担当）  
2005-2006 年度，常任理事（庶務担当）2009-2010  
年度，

#### 社会活動

小野雅之：兵庫県農林水産政策審議会副会長・卸売  
市場部会長，2009-2011 年度  
小野雅之：西宮市卸売市場整備検討委員会会長，  
2010-2012 年度  
小野雅之：淡路野菜生産力強化研究会会長，2010 年  
度  
小野雅之：宝塚市農業振興計画策定委員会会長，  
2010-2011 年度  
小野雅之：尼崎市公設地方卸売市場運営委員会委員，  
2007-2010 年度

金子治平：経済統計学会常任理事（本部事務局）  
2004-2007 年度，理事 2008-2009 年度，理事長  
2010 年度

小野雅之：兵庫県酪農肉用牛生産近代化計画検討委  
員会委員，2005 年度，2010 年度  
小野雅之：農業開発研修センター参与，2007 年度-  
小野雅之：社団法人札幌農学振興会関西支会理事，  
2006 年度-  
小野雅之：やまがた夢未来サポーター，2005-2006 年  
度  
小野雅之：山形県農業・農村政策審議会委員，2005  
年度